

## 野田ゆずる 議会レポート

### 令和7年第4回定例会報告

連絡先：事務所

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103

Tel&Fax 022 (739) 9630

<https://www.y-noda.net>

[info@y-noda.net](mailto:info@y-noda.net)

■ご意見等がありましたらお気軽にお寄せください。



今回の議会レポートは、令和7年第4回定例会報告です。

第4回定例会では、物価高対策を中心に総額約209億円の補正予算を可決。継続する物価高に対する生活者支援として、「みやぎポイント」3,000円分の発行や上下水道料金の減免などが実施されることになりました。

また、SNS等の偽・誤情報、誹謗中傷等への対策強化を求める件、米の安定供給体制の確立と農業基盤強化に向けた施策の推進を求める件、脳脊髄液漏出症患者の救済を求める件の3件を市議会から国へ意見書を提出しました。

代表質疑や一般質問では、物価高対策、クマ被害、給食費無償化、子育て施策の充実、都心部再開発の推進などの質疑が活発に行われました。

### 令和7年第4回定例会 自由民主党代表質疑より

#### 防災庁の誘致に関して

**質問** 東日本大震災の経験と教訓を基に防災環境都市づくりを進めてきた本市はまさに適地であると考え、誘致に一層力を入れて取り組むべきだ、市長の意気込みは如何か。

**答弁** 国内2か所の地方拠点や防災大学の設置が検討されているとの報道を踏まえ、復興大臣への要望へは本市が国と調整を行い、来月早々にも、市議会議長、宮城県知事、県議会議長と共に直接要望する予定だ。

防災庁の地方拠点などが本市に設置されることで、東日本大震災で培われた知見が国全体の施策に生かされるとともに、国との連携によって本市の防災・減災力の向上にも資するもので、引き続き誘致実現に向け最大限に取り組んでいきたい。

#### 音楽ホールと震災メモリアルの複合施設について

**質問** 市長は、東日本大震災を乗り越える過程で培ってきた災害から立ち上がる力、そして人々に癒やしと活力を与える音楽の力を融合させるといふ、本市だからこそその施設だと述べられた。市長は、この設計案をどのように受け止めているのか伺う。

**答弁** 東日本大震災からの復興の過程で大きな力を発揮した本市の文化芸術をさらなる高みに押し上げるとともに、本市ならで



複合施設の外觀イメージ

はの文化を創造し発信をする新たなシンボルとして、将来のこのまち、次の世代を生きる人々に大きな価値をもたらすものと確信している。

施設は本市が未来に向けてさらなる成長を遂げていくためになくはない施設であり、青葉山エリアの魅力をさらに高め、本市の新たなランドマークとなり、国内外から多くの人を引きつけ、地域経済にも大きなインパクトを与えるもので、こうした意義を市民説明会ははじめ様々な機会において発信しながら、着実に整備を進めていきたい。

**質問** 本市の新たなシンボルとなるものと感じた。国内外から高い評価を得ている建築家の藤本壮介氏が手がけるものであり、すばらしい施設になると期待が高まるころだが、事業費については懸念の声も聞こえている。

建築費単価が今後どのような伸びとなるのか、正確に把握することは困難であるということとは理解をするが、現時点に

において548億円以外にどのような整備費が見込まれるのかお示してください。

**答弁** 音楽ホール・震災メモリアル拠点複合施設の事業費については、財政運営上、相応の影響が及ぶものであり、引き続き、建設工事費の精査や交付税措置のある有利な市債の活用、既存の基金の活用可能性の検討などを進めていく。

そうした中で、各局区連携の下、企業版ふるさと納税やネーミングライツなどによる民間資金などの応援もいただきながら、持続的な施設運営を支えけるとともに、将来にわたる財政運営の健全性を確保していきたい。

**質問** 施設の意義は理解はするものの、今後どこまで費用が上昇していくのか、懸念する声も大きくなっているのもまた事実だ。市長の答弁にもあったが、私は、音楽ホールと震災メモリアルの機能が融合したこの複合施設は、世界の中で仙台でしか造り得ないものであり、将来の市民、そしてまちにとっても計り知れない財産になると思っており、しっかりと取り組んでいくべき事業だと思っている。だからこそ中途半端な施設にはしてほしくない、如何か。

**答弁** 持続可能な財政運営は重要で、そのことは確保しつつ、本市の魅力と活力を高める未来への投資を進めていく基本的な方向性というのは変わるものではない。

効率的な事業執行と財源の確保に最大限意を用いながら、着実にこの施設の整備を進めていきたい。

### 仙台赤十字病院移転の対応

**質問** 旧跡地となった場合に、医療モールの施設で、医療自体は様々なクリニックがあり、簡易的な入院ができるように市が対応できるような施設があればよいのではないかと考えるが、地域からはどのような声があり、本市として今後どのように進めていくのか伺う。

**答弁** 病院移転に関する地域の懸念、不安のお声に対して、引き続き、医療機能に関する県の検討を強く促すとともに、まち



跡地が懸念される旧赤病院

づくりの観点も踏まえた跡地全体の利活用について、本市として主体的に検討を進め、安心して暮らせる地域づくりに向けて取組を進めていく。

### 次期地域医療構想について

**質問** 知事は、富谷市にできる東北医科大学の新病院を確実に支援するとしているが、仙台市内の病床が減り、今後、本市の医療提供体制に影響が生じることが懸念される。次期地域医療構想にどのように関与していくのか伺う。

**答弁** 本市の高齢者人口が、次期構想が見据える2040年以降もさらに増加していくといった実情が適切に考慮されると認識している。

市の医療体制の課題等について独自の調査、分析に着手したところで、今後、その結果も踏まえて県との協議を重ねながら、将来にわたり適切で切れ目のない医療提供体制の確保に向け取り組んでいく。

### 物価高騰対策に係る補正予算について

**質問** 今回の物価高対策について、市長はどのような方針で予算案を編成されたのか伺う。あわせて、その特徴あるいは独自性は如何か。

**答弁** 今般の補正予算は、物価高騰により影響を受けている市民生活や事業活動に対して速やかに支援を行うべく、国の重点支援交付金を活用し、また一部一般財源も追加して対策を講じるものだ。

各自治体が地域の実情に応じて実施できる、推奨事業メニューが拡充されたことから、これまで実施してきた福祉施設への助成などに加え、上下水道基本料金減免やデジタルポイントの給付、低所得世帯向け商品券の配布についても新たに講じることとした。

物価高騰の影響を受けている多くの市民や事業者の皆様にはいち早く支援を届けるとの思いの下、全庁一丸となって取り組み、取りまとめたこの補正予算であり、引き続き早期の事業執行に向けて着実に準備を進めていく。

**質問** 対象世帯や一世帯当たりの支給額、支給方法や支給時期など、それぞれの事業の概要について伺う。

**答弁** 3000円分相当のデジタルポイントを

今なら、ポケットサイン<sup>みやぎ県民公式アプリ</sup>をインストール・登録すると、

仙台市民限定で

宮城県公式  
地域ポイント

3000円分プレゼント!

対象者:仙台市に住民登録のある方

発行するものだ。ポイントは県内約2000店舗で使う。

この手法を採用することで、早期給付に加え事務費の低減が可能となり、発行時期は来年1月中を目指している。

また、ポイントが地元店舗で利用されることは本市経済にとって重要であり、経済局と共に商店街の店舗などの加入促進に取り組んでいきたい。

**質問** 物価高騰は町内会活動にも影響を与えている。担い手不足が深刻になる中、あらゆるものが値上がりし、資金面でも町内会組織は苦しんでいる。町内会支援も検討すべきと考えるが、如何か。

**答弁** 近年の物価高騰が集会所の建設や行事の開催に影響を与えるなど、町内会活動が制約される状況にあると認識をしている。今後、地区集会所建設等補助金の拡充に向けた検討を行うなど、必要な支援に取り組んでいく。

#### 住民税非課税世帯緊急支援事業について

**質問** 住民税非課税世帯緊急支援事業費として16億円余が計上されているが、対象世帯や一世帯当たりの支給額、支給方法や支給時期など、それぞれの事業の概要について伺う。

**答弁** 物価高騰の影響を特に受けている住民税非課税世帯を対象に、家計負担軽減に速やかに利用いただく観点から、お米以外の食料品や生活雑貨など幅広く購入可能なギフトカード1万円分を、申請を要さず、郵送により配布することとした。

#### 太陽光発電事業への対応について

**質問** 高市政権は、北海道釧路湿原でのメガソーラー建設による自然破壊の問題を受け、法的な規制を強化する方針を打ち出しているところで、今後、本市がこの問題にどのように対応していく方針なのか、改めて伺う。

**答弁** 国の規制に係る検討状況を注視しつつ、要望を重ねていくとともに、本市としても、パネル廃棄をはじめとした課題等も

踏まえながら、太陽光条例の改正を念頭に、手続の厳格化に向けた具体的な検討を進めていきたい。

#### 新築建築物への太陽光発電導入と促進制度に関して

**質問** 新築建築物への太陽光発電導入の検討を進めており、中間案に対するパブリックコメントが実施された。市民の皆様の反応と当局の受け止め、今後どのように周知を図っていくのか、現時点で具体的な方策案があればお示しください。

**答弁** パブリックコメントでは、本市の考えに賛同する意見を多数いただいた一方で、太陽光発電への不安の声も頂戴した。

支援策については、令和9年度からの制度施行に先立ち、来年度からの補助の開始を検討するとともに、住宅ローンの金利優遇など金融機関との協議も進めており、市民、事業者の皆様が取組やすい制度となるよう検討を深めていく。



新築建築物への太陽光導入促進制度を2027年4月に施行予定

#### 仙台市・宮城県調整会議の開催について

**質問** 6期目となる村井県政がスタートしたこの機を捉え、二重行政を含めて県市間の課題を改めて確認し、仙台市・宮城県調整会議の開催を検討をしてはどうかと考えるが、如何か。

**答弁** 社会課題の複雑化や地域間競争が進む中、県と市が十分な議論を尽くすことは一層重要性を増していることから、各分野における県市間の課題を整理しながら、開催に向けて検討していきたい。

#### 青葉山エリアビジョンについて

**質問** 様々なビッグプロジェクトが進むこの青葉山エリア一帯で、各施設の機能や催しが連携し、このエリアの回遊性を高めることは、本市を訪れる方にとってさらに魅力あるものになると考える。将来的には、青葉山公園から見える景観なども含め、ナイトコンテンツの活用等が非常に重要である。

将来、本市の魅力ある場所にしていく

ためにも、単独の施設として考えるのではなく、全ての施設の連携を含めてすばらしいものにしていただきたいと考えるが、今後の青葉山エリアのビジョンをどのようにお考えか伺う。

**答弁** 複合施設の整備や大手門復元のプロジェクトを進め、屋内遊び場整備や新たな観光戦略に基づくにぎわいづくりも進めている。

エリア全体のさらなる魅力向上につなげるためには、これら相互の連携、回遊性が重要だ。二次交通の充実はもとより、青葉山からの優れた景観の活用やナイトコンテンツづくりなどにも取り組み、本市の文化観光の拠点として国内外から多くの方を引きつけるエリアを目指して取り組んでいきたい。

#### クマ対策について

**質問** 全国初で行った緊急銃猟の詳細並びに問題や課題があれば教えてください。

**答弁** 今回の緊急銃猟は、住宅地近くの緑地に熊がとどまり、人身被害防止のために緊急に対応が必要で、銃猟以外の方法では的確、迅速な捕獲等が困難であることや、通行制限による安全確保など条件が整ったことから、早朝に銃猟により捕獲したものだ。

本市では、緊急銃猟制度の開始前から関係者との実践的な訓練等を行っており、適切な対応ができたものと考えている。

**質問** クマの出没状況に応じて、各区役所や総合支所等の職員の負担軽減を図るなどの対応も必要と考えるが、如何か。

**答弁** 地域における安全・安心の確保に向け、最前線でクマ対策に従事する区役所等職員が、安定的に緊急時の捕獲や相談に対応できる体制を整える必要がある。

このため、出没情報の取りまとめなど事務作業の応援や休日対応を輪番とするなど、各区役所、総合支所の実情に応じた体制確保に努めているところだ。

**質問** 山や川にAIカメラを設置して確認することなども含め、新たな技術を活用した出没情報の収集、提供や、人の生活圏への出没抑制などを図っていくことも必要ではないかと考えるが、如何か。

**答弁** 本市では、市公式LINEで出没情報をプッシュ型で発信しており、市のHPで

のLINE通知の紹介や啓発チラシへの二次元コードの掲載など、多くの方々に登録いただけるような工夫なども行ってきた。

引き続き、各種広報媒体はもとより、町内会の回覧板等も活用しながら、より多くの方々にクマ出没情報等の把握手法が伝わるよう工夫を重ねていきたい。



#### 国のインフラ長寿命化計画に関する本市の対応

**質問** 国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策において、予防保全型インフラメンテナンスへの転換の加速化を図るとされているが、これらを受けて本市の道路施設においてはどのように対応をしてきたのか伺う。

**答弁** 本市の道路施設では、損傷が深刻化してから修繕を行う対症療法型維持管理から、損傷が深刻化する前に修繕を行う予防保全型維持管理への転換を目指す長寿命化修繕計画を策定し、定期点検の結果を踏まえ、早期に対応すべき施設から順次対策を進めてきた。

**質問** 本市では、様々な災害が発生した場合に対応していただく災害協定を結んでいる会社が多くある。道路の変状を早期に発見するためのパトロールについて、民間の力も借りながら取り組むことが重要と考えるが、如何か。

**答弁** トンネルなどの施設は予防保全型維持管理に移行しているが、引き続き橋梁についても、国土強靱化のための予算等を活用しながら予防保全型維持管理への転換に向けた取組を加速し、市民の安全・安心の確保に努めていく。

#### 教員の処遇改善に対する所見について

**質問** 教員の処遇改善に対する当局の所見を伺う。

**答弁** よりよい教育を実現していくため、国に対し教員の処遇改善を求めてきた。

教員を取り巻く環境整備に向け、処遇改善に加え、働き方改革のさらなる加速化や学校の指導・運営体制の充実を一体的、総合的に推進することが必要とされていることから、併せて取組も進めていく。